

ク ロ ン シ ユ タ ッ ト ・ イ ズ ヴ ェ ス チ ャ II

四号 一九二一年 三月六日

五号 一九二一年 三月七日

La Commune de
Cronstadt
— Cronstadt
Izvestias —
Délibaste 1969

吉原 文明・訳

イズヴェスチャ 四号

一九二一年 三月六日 日曜日

同志諸君、クロンシュタット水兵と労働者たちの汗にまみれた手は、共産主義者の手中から政権を奪い取った。よって、これより、われわれは自らの力をもって統治を行うのである。そしてソヴィエトの船舶は、ベトログラード沖を真直に進むであろう。ベトログラードにおいてこそ、汗にまみれた手の勝ち得た政権は、しいたげられたロシアの上を旗めぐであらう。

しかし同志よ用心せよ、常に警戒を怠るな、われわれの前途は危険に満ちている。社会主義建設——暗礁にのりあげること——この偽装策動によつてのみ、船舶とその大切な船筒とを送ることができるのだ。したがって同志よ、舵を注意深く見張るのだ。敵はたえず横どりしようとならつてゐる。ほんの一瞬注意を怠つた

すきに舵を奪われる危険は大きい。ソヴィエトの船舶は、ロシア皇帝（ツァール）の手下とソヴィエト・ブルジョアたちの嘲笑の下を速やかに進むであらう。

諸君、今日、君達は共産主義者の独裁の下に偉大な平和の勝利を獲得した。しかし、これとはまったく別の理由をもって、君達の敵も同様に団結しているのだ。われわれは、ソヴィエト権力再建への激しい願いに燃えたとつてゐる。すなわち、労働者には自由な職業を、農民には土地と農作物の自由な管理を、これがわれわれの気高い目標である。

しかし敵もまた、ロシア皇帝笞刑の再興と將軍の特権を夢見てゐる。しかしわれわれの関心が、別であることは明白な事実である。すなわち彼等は、われわれの仲間ではない。諸君は、国の平和の再興とその労働の創始者なのだ。敵が権力を願うとしたら、それは君達を奴隷におとしめるためなのだ。君達は自由を求めて

いる。しかし敵はその君達の手になわを、足に足枷をはめようとしてゐるのだ。

同志諸君、注意せよ。羊の衣をまとつた狼を近寄せてはならぬ。

● 憶病者、嘘つき者ども

われわれは、クロンシュタットにまかれた共産主義者の飛行機ピラの声明文の写しを下記に掲げる。

クロンシュタットの市民は、いかにして、また、いかなる者たちによつて忌むしい共産主義政權が、くつがえされたかを知っている。彼等は臨時革命委員会が、彼等の献身のために選ばれた赤軍兵士、水夫、労働者たちをみいだすことを信じてゐる。なぜならば、彼等こそが勤勉なる人民の一番のにない手だからである。ツァーリスト、白色主義者ですら彼等に首輪をはめなぞしなかつた。しかし、共産主義者は脅かす。あと数時間で降服を余儀なくされるであらう。

輕蔑すべき偽善者共よ、誰がだまされるものか、クロンシュタットの駐屯軍は、ツァーリスト將軍共に降服などはしない。ボルシェヴィキ將軍共に降服すると思つてゐるのか。憶病者共、嘘はもう沢山だ。

勝利を獲得するか、さもなければ闘い、死ぬという、われわれの不屈の力と闘志を君達は知つてゐるのか。労働者の血によつてあがなわれた金は、ツァーリストの銀より重い。君達の人民委員共のように、われわれは逃げたりはしない。

クロンシュタットのだまされた者達へ

モスクワ・ラジオ通信

今、彼等が君達を何処に連れていこうとしてゐるのか、又現在、何処にゐるのか分つたであらう。社会主義革命家とメンシェヴィキの陰で、ツァーリストの將軍共は牙をむいてゐるのだ。ペトリチェンコ、トキンどもは、コズロフスキー將軍、ブルケー、コストロミティノフ、シイラカノヴィスキー、その他の専制君主支持者たちのあやつり人形にすぎないのだ。君達はだまされてゐるのだ。彼等は、君達が民主主義のために闘つてゐるのだと言明する。だが日が経ち、君達は、民主主義という偽善者共の戦いのなかで、ツァーリスト將軍たちの新しい奴隸となつてゐるのに気づくであらう。彼等は、君達にでたらめをいつてゐる。

ペトログラードは、君達を救うだろうか。シベリアとウクライナは、君達に従う用意が出来てゐるであらうか。

恥知らずの嘘ばかりだ。

ペトログラードでは、君達がコズロフスキー、ツァーリスト將軍によつて、あやつられてゐると知つた時、すべての水夫は一人残らず君達を呪つた。

シベリアとウクライナは、断固としたソヴィエト政權の味方である。

赤い都市、ペトログラードでは、社会主義革命家共と白色反革命主義者の連中の、あわれな偽装工作を嘲笑する。

君達はあらゆる方面から取り囲まれてゐるのだ。数時間の後に、君達は降服を余儀なくされるであらう。

君達はパンがつきてゐる。燃料もつきてゐる。

もし降服しないなら、君達は「鳥」のように射ち殺されるであ

ろ。

すべての將軍たち、コズロヴスキー、ブルケー、ベトリチェンコ、トーキンたち、このすべての卑劣漢共は、最後の瞬間に必ず、フィンランドの白色革命主義者の下へ逃げて行くであろう。そして彼等、水夫、赤軍兵士、君達は何処に行くのか。

彼等が君達に、フィンランドでパンを約束しているとしたら、君達はだまされているのだ。

君達は、ウランゲル軍がどのようにしてコンスタンチノーブルへ逃げのび、そして飢えと病などによって「ハエ」のように倒れていったか忘れたのか！

もし君達が、直に彼等——白色革命主義者たちに抵抗しなければ、同じ運命が君達を待っているだけなのだ。さもなければ、直に降服したまえ。一刻の猶予もならない。武器を捨て、われわれの下へ来たまえ！

武装解除し、君達をひきいている不法な連中を逮捕せよ、特に、ツァーリスト將軍たちを逮捕せよ！

即座に降服した者は、その罪を許されるであろう。

一刻も早く、降服せよ！

ベトログラード・防衛委員会

無線電報が、ベトロバヴロフスクで遮断された。われわれは、下記にその再成文を載す。

共産主義者たちが、他所においてベトログラードのソヴィエト黨員たちに対したように、恥知らずにも労働者、赤軍兵士をだましつづけたことを幾度も露呈した。しかし、革命駐屯軍とクロン

シュタットの労働者は、欺かれはしない。

ベトログラード・ソヴィエトの声明

ソヴィエトのメンバーの他に、工場の委員会代表、組合の指導者、その他一〇〇人余の労働者、赤軍兵士、水夫たちが出席してこの集会は行なわれた。

ひとにぎりの反革命暴動者たちが、クロンシュタットを煙にまいた。ベトロバヴロフスクの水兵たちの陰で、フランスの反革命派から買収された者たちにより、公然たるスパイ行為がなされている。彼等は水兵たちに、民主主義のために戦うよう説得した。また一滴の血も流さぬよう努力し、望んでいると主張した。そして反乱というものは、ただ一度の銃撃にも値しないなどと断言し、彼等が打ち建てようとしているこの民主主義は、フランス政府のスパイ、ツァーリスト將軍共の、また彼等の忠実な共犯者であるメンシエヴィキ一派と、反革命主義者たちに、自由気ままな振舞を許すであろう。ならず者と裏切者のこの一味が、もし勝利を得るならばブルジョア政權は復活し、人民は虐殺されるであろう。メンシエヴィキと社会革命家たちは、ソヴィエト共和国の困難な状態を理由に、共産主義者には統治能力がないと断言している。それならば、誰が一体この三年間もの間、労働者、農民たちに国の平和的な再建に身を献げることができるような可能性を与えたのだらうか。飢饉や統治上の責任の問題は、メンシエヴィキと社会革命主義者たちにあるのだ。彼等こそが、すべての反人民的な暴動を支持し、地主たちと資本主義者たちの政權復活を願い、また絶えず内乱をまき起し、ロシア・ソヴィエトに対して、あくこ

となく、世界帝国主義を育んでいるのだ。

クロンシュタットに於いて、一度の発砲もなしに政権を握ぎるであろうという根強い噂が流れている。もしそれが本当であつたら、ソヴィエト政権は紛争を穏やかに解決することを望んだということになる。しかし、われわれの忍耐はもはや限界にきている。ブルジョア国際労働者連盟が頭をもたげ、労働者階級の敵の陣営では、激昂が沸き立ち、ロシア・ソヴィエトに反対する新しい運動は、爆発の瀬戸際にあるのだ。われわれのすべての戦勝は、危険に瀕している。反乱者共は、新しい戦争に突入することを望んでいる。共産主義者たちには、国を統治する能力がないなどと、金切り声をあげて喚んでいる。ペトログラード・ソヴィエトの中央政府は、それを許すことができない。

クロンシュタット反革命叛乱軍は、あらゆる困難な問題を解決する能力がない。同じように、クロンシュタットは、ロシア・ソヴィエトに対して戦うことはできない。暴動は一刻も早く鎮めなければならぬ。労働者、水兵、赤軍兵士の同志たちよ。君達はまだまされているのだと悟りたまえ。反乱の解決は君達次第なのだ。君達を反乱に巻き込んだ反共兵士達が罰せられないならば、結果は悲惨なものとなるだろう。

同志よ、反革命の陰謀の煽動者を、直に捕えよ！クロンシュタット・ソヴィエトを直にその職務に復帰させよ！ソヴィエト政府は、だまされた労働者と、自覚した反革命者とを区別することができる。

同志よ、ペトログラード・ソヴィエトは幾度も諸君に警告した。人民の血を流すも、流さぬも君達次第なのだ。

道理をわきまえない人民の敵共のすべての企ては、われわれによつて、鎮圧され罰を受けるであろう。

これはわれわれの最後の警告である。

時は迫っている！

われわれと共に反革命叛乱軍と戦うか、それとも共産軍と戦うか、いずれかを選ばなければならない時がきた。

ペトログラード・ソヴィエトの労働者、農民、赤軍兵士の各委員

臨時革命委員会の無線電報

すべての人民へ……すべての人民へ……すべての人民へ……

労働者、水兵、赤軍兵士の同志諸君。われわれは、この地クロンシュタットにおいて、君達が共産主義の独裁の下にどれほど苦しんでいるかをよく知っている。君達は妻子と共に、飢えや寒さに半ば死にかけている。

われわれは、ソヴィエト共産党を打ち倒した。革命委員会は、もはや墮落した共産主義の意志を反映させるものではなく、労働者、兵士、人民全体の意志の反映である新しいソヴィエトの選挙組織を請負っている。われわれの主張は当然なものである。われわれは党に変わつてソヴィエト政権を守る。われわれは、人民の代表者が自由に選出されることを願う。共産主義者によつて買収され墮落したニセのソヴィエトは、いつもわれわれの要求に耳をふさぎ続けてきた。すべての解答として、われわれは、沈黙以外に何ひとつ受けとらなかつた。

そして彼等は、われわれを黙らせるため、殺し屋の銃火を好んできた。もうわれわれの忍耐は、限界にきている。ジノヴィエフ

は、ベトログラード地方の軍事的関所を廃止させ、モスクワでは、食料品と生活必需品を外国から買入するため、一〇〇〇万リーブルの金貨を放出した。しかし、ベトログラードのプロレタリアは、決してだまされなない。

同志諸君、われわれは君達に向つて、共産主義者の頭上に親愛なる手をさしのべる。クロンシュタットの革命は、君達が必要なのだ。

諸君、このままだまされるままになつてはならない。クロンシュタットでは、政權は完全に革命的労働者側にある。すなわち労働者、農民、水兵、そして赤軍兵士の手の中にある。われわれは、偽りのモスクワ放送が断言するような「コズロヴスキーによつて支配されている白色反革命主義者」によつて動かされてゐるのではない。

臨時革命委員会の構成と職務配置

CRPに選出されたのは次の同志達である。

CRP議長 同志ベトリチェンコ

同 副議長 同志アキメンコ

同 同志アルシノフ

CRP秘書 同志キルゼスト (同時に情報担当も兼ねる)

同 民事業務 同志ヴァルグ

同 民事業務 同志ロマネンコ

CRP運輸 同志バヴロフ

CRP食料統制 同志トーキン

ベトログラードに於けるクロンシュタット代表部委員会
委員会は、主要都市の水兵、労働者たちに、クロンシュタット事件に関する通知、及びCRPのパンフレット等と声明文の配布を行うなど、託されたすべての任務を達成した。

フォート・リーフの赤軍兵士の議決

共産主義の同志諸君、君達の周囲を少し見廻し給え、われわれがどれほど恐ろしい苦境に立されているか、分るであろう。この苦境は、共産主義者の口実の下に巧に陰蔽されながら、社会のなかに居心地のよい住家を構築した、ひとにぎりの官僚主義者の策謀なのである。

共産主義者である私達は諸君に言明する。君達を同胞殺しの戦いにけしかける、これらの「エセ共産主義者」どものことは放つておけ、われわれが党に属さない同胞であるところの労働者、農民の非難を受ける時、つまり、それは、われわれ無実の共産主義兵士たちが「エセ共産主義者」どもの誤りを償つてゐるのだ。

君達の周囲を見廻し給え、状況は決して輝かしいものではない。われわれは、幾人かの官僚のために同胞の血を流すであらう：否か。

同志よ、抵抗せよ、決して彼等の挑撥にはのるな、彼等は君達を虐殺へと、駆り立てようとしているのだ。真の共産主義者は、自分の個人的な考えをぞ押しつけはしない。真の共産主義者は、勤勉な労働者と共に歩むからだ。

ロブカル・ロシヤ共産党員 (ボルシェヴィキ)

クロンシュタット臨時革命委員会の提案と工業労働組合の事務局

ORPは、水兵、労働者、赤軍兵士の代表者たちによつて行なわれた、三月四日の大衆集会の決議案に同意する意向を表明した。地方支部と組合事務所の執政官に対し、月曜日迄に、地方委員会と理事会の再選を行うよう、又同様に、八日の火曜日に、ソヴィエト工業労働組合の再選を行うよう、提案された。

クロンシュタット臨時革命委員会のラジオ放送

同志諸君、一刻も猶予はならない。団結せよ！
われわれと、しつかり手を結ぼう。

君達の代表者を、クロンシュタットへ送ることを要求せよ。
彼等、代表者こそが君達にすべての真実を告げるであろう。

フィンランドのパン、食糧、それに党、共産主義者共について
の、あらゆるでたらめをあばくであろう。

革命的労働者、農民万才！

自由に出出されたソヴィエト政権万才！

一九二一年 三月六日

ペトロバプロフスク・無線通信局

イズヴェスチャ 五号

一九二一年 三月七日 月曜日

すべての権力を党ではなく、ソヴィエトへ！
弾丸を差しむな！

陸軍元師トロツキーは、ここ三年来共産主義人民委員の絶対主義権力に対し反抗している、自由で革命的なクロンシュタットを威嚇している。共産党独裁の恥ずべき束縛を地に投げ捨てた労働者たちは、この新たなトレイポフによつてクロンシュタットの平和的な人民に軍隊をもつて介入し、虐殺するとおどされている。彼は同じように他の事を繰り返し命令した、「弾丸を差しむな」。彼はすべての水兵、赤軍兵士、革命党員に大量のそれを用いなくてはなるまい。

そのうえロシア・ソヴィエトの独裁者は、共産党によつて犯された労働者大衆の変死をも気にかけず、ただ権力を管理するのみであった。彼はずうずうしくも、ロシア・ソヴィエトの殉教者の名と慈悲を約束することを語った。

それは彼、ウクライナ共産党の司令長官、残忍なトロツキーである。彼は、党の絶対的権力を維持するため血を大量に流し、あらゆる自由精神を窒息させた。革命の赤色旗を高く、力強く掲げたクロンシュタットの人民によくもずうずうしくそのようなことが言えたものだ。

労働者の血をもつて、彼らの家族を逮捕したその不幸によつて共産主義者は、彼らの独裁維持をたくらみ、水兵、赤軍兵士、背の曲った労働者たちにそれを強制した。彼らはこのようにして、権力と腐敗した政治を遂行し、確立することをもくろみ、すべてのロシアの労働者を無秩序、飢と寒さの奈落のなかにおとし入れてしまった。

もうたくさんだ！
われわれはなにも失わないだろう。

共産主義者よ、おまえたちの希望はむなしく、ばかげた威嚇である。労働者革命の新たな波は立ち上がった。それはロシア・ソヴィエトに泥を塗っている、下劣な嘘を一掃するだろう。トロツキーよ、おまえの情などわれわれは断じて受けようとは思っていない。

再び中傷

共産主義者は、「中傷し、名誉を毀損し、たえずなにごとかを隠蔽している」彼らにびつたりりの偽善者の戒律を採択した。彼らはさらに続けている。彼らの無益な激怒は、クロンシュタットの出来事に關し非常にはかばかしい騒ぎを繰り返しながら、ベトログラードの赤軍兵士と労働者階級の間に混乱を引き起こそうとしている。

「ロスタ通信」によれば、共謀国、フランスのスパイ、白色擁護者、ツアーの將軍、フィンランドの銀行家、フランスの反革命家たちが、われわれの下に結集している。要するに全世界の反革命分子どもが、貧しい共産主義者の背を打ち砕くということである。

そのうえ共産主義者たちは、フランスの官憲、元ツアーの將軍どもが、彼らの祖国で急激に増え、自然発生的に加担するよう高い金を払って買収していると、クロンシュタットの労働者に断言している。だがわれわれは、「自然発生的である」。ほんとうにただひとつとしてそれらのことを知らない、
更につけ加えるならば、それらの虚報はベトログラードの労働者を納得させることができなかつた。

「ロスタ通信」は次のような恐しい発言をした。

「アメリカに於いて共和主義者が権力の座についた。彼らはロシア・ソヴィエトと心からの交流をもち、その座を不動にすることを望んでいる。そのような時期に、クロンシュタットの、無秩序で不穏なざわめきを無政府状態と流布し、アメリカの新大統領に影響を及ぼし、アメリカ政治の発展を妨害しようとする。同時にロンドン会議が開会され、明らかに同じような国税は、共謀国側の提議を採択するためトルコ代表に圧力を加え危険な状態におとしいれている。」

共産主義者の突然の行動によつて道に迷つてしまつたフランスの官憲どもは、アメリカの新大統領に影響を及ぼすためクロンシュタットに金をばらまき、トルコ代表部の計画を変更させようとしている。

われわれがごとく言つたという、このばかげた文章は、共産主義者の愚かな行為の記録を流布するものであり、クロンシュタットの市民は高笑するであろう。クロンシュタット騒乱の叙事詩とこの町の市民に対し発言された、「雉のようになり殺してやる」という威嚇は、これできまぐ一致する。

われわれの通信局が受信した無線電信

「ロスタ」通信局

フランスの新聞「ル・マタン」に掲載されたクロンシュタットで発生したソヴィエト権力に対する反乱に關し、ヘルシングフォルス（フィンランド）からの通信によれば、

二月一四日、バルチック艦隊の反乱と人民委員の逮捕は、フラ

ンスの官憲が準備し、クロンシュタット反乱の主謀者であるツァーの將軍どもが連帯したものであった。

そのことは目下、フランスの官憲、元ツァーの將軍どもが、自然発生的に反乱に加担するよう買収していることと、クロンシュタットで彼らが急激に増えている事実で証明されている。更に、クロンシュタットの蜂起を立証する反革命官憲どもによる、ここ三週間来流布されている非常に空想的な騒ぎは、まことの事件を伝えるものではなく、クロンシュタットとベトログラードにおける反革命的声明は最後の時まで行なわれた。また要人逮捕のなかに周知のフランスのスパイが姿を見せた。

同時に、食料と燃料欠乏による危機的状况を利用して社会革命党右派は、ベトログラードとクロンシュタット労働者、水兵の間に強度の騒乱を企てた。

二月二八日、戦艦ベトロバブロフスク上で完全に反動的な決議が採択された。翌日、水兵の圧力の下に、それは読み上げられ承認され流布された。それにはソヴィエト再選要求が含まれていた。われわれ同志は反対意見のため、その場には一人も出席しなかった。また、教育会館に水兵と労働者の代表を召集することが提議されたが、結局その提議は延期された。

選挙が開始された。それはまず戦艦ベトロバブロフスク号の艦上で行われた。だが反革命的な企ては、その召集を断念せざるをえなかった。

三月二日、ソヴィエト権力に対し戦艦ベトロバブロフスク号上で発生した反乱は、メンシェヴィキとツァー権力の旗の下に身を潜めた社会革命党の援助によるものであった。暴徒の公の委員長

は代表人ベトリチェンコ、その秘書水兵トーキンとである。だが実際彼らは、ブルカー主領とツァーの將校、更には元ツァーの將軍コルボルスキーによつて動かされている。同様に、白色擁護將校コストロミトノフとシミリアノフスキーはこの反乱の主領である。

三月二日「労働委員会と防衛委員会」は次の事項を決定した。

(一) コルボルスキー將軍とその一派は違法であること。

(二) ベトログラード市とその地方一帯に、戦時状態令を發布すること。

(三) 防衛委員会の權威で、ベトログラード地域一帯の最高の権力を手中に納めること。

翌日、明らかな矛盾の前兆が反乱組織のなかに表われ始めた。反乱の指導者たちは、組織員の精神状態を回復するために、最後の手段としてフィンランド国境まで退却することを告げた。同時に反動新聞は、この反乱のため補助金を与えた、エストニア人のブルジョアジーの意向に応じて虚報を報じた。

ベトロ・ソヴィエトの会議は三月四日開かれ、その席上同志ジノヴィエフは、クロンシュタットの出来事に関し完全な報告書を提出した。続いて、クロンシュタットの労働者、水兵、赤軍兵士に向けてのアピールが作成され、全ての会衆によつて承認された。またその場で、フランスの資本家によつて送られたスパイの悲惨な陰謀と、メンシェヴィキと社会革命党員たちが実際の反乱を準備し、進めていることが暴露された。

ソヴィエト政府の拡大強化された呼びかけは、意識的な反革命分子と無意識的な労働者を区別していった。事実、軍事的計画に

基づくクロンシュタットは、ベトログラードのためにクラスナイアゴルが要塞を支配し、反革命の余燼を縮少することを余議なくされ、いかなる配慮も反映されなかつた。すべてのクラスナイアゴルが要塞の守備兵は、反逆人として呪われ、闘いの欲望にとりつかれてしまった。少数の工場で、共謀国側の官憲か反革命分子の引きずり込みと思われる労働者たちが、ソヴィエト政府に対する挑発攻撃を行った。

ベトログラードの水兵集会は、このうちのひとつとしてはじていない。

不満が水兵のうちで大きくなった。水兵のうちの大部分は、コルボルスキー將軍とその一派を憎んだ。彼らのうちの多くが時が去ると共に叛乱の隊列を見捨ていつた。

諸外国の無線電信と新聞は、ロシア・ソヴィエトの敵であり、ロシアの無政府状態を望んだ非常にばかげた情報を提供した。

外国の社会革命党は、意味の分らない大量のツアーの札束を受けとつた。それは、市街戦の騒擾のなかでツアー將校どもの王朝復古が、どれほどの利益をもたらすかを吹聴したものである。

アメリカにおいて共和主義者が権力の座についた。彼らはロシア・ソヴィエトと心からの交流をもち、その座を不動にすることを望んでいる。そのような時期に、クロンシュタットの無秩序で不穏なざわめきの無政府状態を流布し、アメリカの新大統領に影響を及ぼし、アメリカ政治の発展を妨害しようとして企んでいる。同時にロンドン会議が開会され、明らかに同様な風説は、共謀国側の提議を採択するためにトルコ代表に圧力を加え危険な状態におとしいれている。

ベトロバプロフスク号の反乱は、ソヴィエト・ロシアに於ける困難な国内情勢に着手するということではなく、全世界に於ける彼の地位を根底からくつがえすための、反革命集団の大陰謀であることは疑う余地がない。共謀国の銀行家たちがこの計画を作り上げ、彼らのスパイが実行しようと努めた。この陰謀の主要人物は、メンシエヴィキによつて支えられている元ツアーの將軍とその將校一派、そして反革命分子どもである。

オラニエムバンの射殺

オラニエムバン守備兵の委員セルジェの命令によつて、鉞山取付人指導者IIオラニエムバン航空師団臨時革命委員会委員長バラゴノフ、その委員会のメンバー、ロマノフとバラアデイミイノフは射殺された。

悪魔、暗殺者

人民の真の自由のために葬られた兵士に永遠の栄光を

ベトログラードからの最後の情報

ベトログラード市とその地域一帯に戒厳令が発せられ、外出は夜七時以降禁止された。労働者大衆と水兵の逮捕と処分は続けられている。すべてが重々しく、人々は他の決定的な反乱の瞬間を待ち望んでいる。

防衛委員会は永久的にベトログラード市に置かれた。劇場公演と集会は禁止された。一般旅行者用の列車はまったく走っておらず、軍事列車のみが運転されている。ベトログラードの新聞は、われわれのラジオ放送を記載していない。

クロンシュタットは人質の釈放を要求する、次の電文をベトログラード・ソヴィエトへ送った。

クロンシュタット水兵の名において臨時革命委員会は、ベトログラード・ソヴィエトが人質として拘留しているすべての労働者、赤軍兵士、水兵の家族を二四時間以内に釈放することを要求する。クロンシュタット守備隊は、クロンシュタットにおける共産黨員が安全で自由な状態にあること、また彼らの家族は少しの危険もなく安全な状態にあることを言明する。ここではベトログラード・ソヴィエトで起っているような非常にはかばかしい、卑劣な、絶望的な激怒によつて引き起された「人質の拘留」ということはない。歴史的にみてもこのような不名誉な事は決してなかつた。

臨時革命委員会・委員長 ベトリチェンコ

同書記 キルガスト

トロツキーの脅迫

トロツキーがクロンシュタットの人民と暴動を起した前線部隊に、ラジオ放送を通して伝えた奇妙な命令をここに掲載する。

労働政府は、クロンシュタットと暴動を起した水兵たちが、ソヴィエト共和国権力にすぐさま服従することを決定した。

従つて私は、社会主義に対して鉄拳を向ける者は、すべて直ちに武器を放棄するよう命ずる。反乱者たちは武装解除され、ソヴィエト権力に引渡されるであらう。逮捕された執行委員および政府代表者を直ちに釈放せよ。

無条件に降伏するもののみが、ソヴィエト共和国の慈悲を受けることができる。

同時に私は、暴動を粉碎する出動命令を発する。暴徒は武力によつて一掃されるだろう。すべての住民の上に降りかかる災難の責任は、白色擁護叛徒にある。

ソヴィエト共和国軍事評議会委員長 トロツキー

司令長官 カーメネフ

代表者派遣を条件とする交渉

臨時革命委員会は、ベトログラードから次の無線電報を受け取った。

「そちらの本当の状況を知るために、共産黨員と無党派のソヴィエトのメンバーをクロンシュタットへ送ることができるかどうか、ベトログラードへ電報で知らせしてほしい。」

臨時革命委員会は、直ちに次の電文をもつて答えた。

われわれは、あなたがたのいう無所属のメンバーの中立性を確信するわけにはいかないので、あなたがたは、われわれの面前で工場労働者、赤軍部隊、水兵の無党派のメンバーを選出するよう要求したい。この選出された無党派のメンバーのなかに、一五パーセントの共産黨員を入れてもよい。

クロンシュタットからベトログラードへ代表者を派遣する日時と、ベトログラードからクロンシュタットへ代表者を派遣する日時とを明記した返事を、三月六日一八時まで返答してもらいたい。もしあなたがたがこの期限に答えることができない場合は、あなたがたの都合のよい日時と、返事の遅れた理由を知らせてほしい。

帰る方法については、クロンシュタットの代表に確かめていた

だきたい。

臨時革命委員会

赤軍兵士から赤軍水兵へのアピール

われわれ「クラスノアルメーツ要塞」の赤軍兵士は、クロンシュタットの皆の人民と臨時革命委員会に賛意を表明する。ここには將軍どもも、帝政時代の地主もいない。飛行機から撤かれた共産主義者のでたらめな布告文を信じるな。

クロンシュタットは常に労働者、農民のものであることを言明し、將軍どもはむしろ共産主義者に加担している。

われわれの町がスバイに引渡されたと言っている。それは恥しらずの嘘である。更にわれわれは、常に革命によつて獲得された自由の擁護者としてある。

官僚主義的共産主義者の語っている嘘を信じるな。もしこのことを確信したいものがいたら、クロンシュタットへ代表者を派遣したまえ。

「クラスノアルメーツ」要塞守備隊

決議

現在の情況に関する報告書が読み上げられた後、「クラスノアルメーツ」要塞の赤軍兵士、臨時革命委員会代表、同志ヴェルシイノフは、次のことを決議した。

われわれ要塞の赤軍兵士は、満場一致で臨時革命委員会を支持することを決議する。われわれは、最後の瞬間までこの決議を遵守するであらう。

われわれの要求は、臨時革命委員会の主張と共に、無線と新聞によつてわれわれの決議が、広範に広められることを要求するものである。われわれの決議は、クロンシュタット守備隊の市民集会において採択されたものに遵する。われわれの闘いの理由と意味をすべて知ってもらうため、ベトログラードおよび他の町の労働者大衆に通知されることを要望する。

われわれは、選ばれた人民である臨時革命委員会に敬意を表する。

われわれは、労働者によつて獲得された権利を守るため、この規定にことごとく従うものである。

委員長 デニドフ
書記 スミノフ

第四師団の市民集会と中隊指令

第四師団の代表、同志カルポフの報告を聞いた後、臨時革命委員会の代表エベテルトは、次のような決議を採択した。

国の運命を決定するような現在の情況のなかで、われわれは権力をわれわれの手中に納め、至上命令権を臨時革命委員会に託した。われわれは、労働者と守備兵に向つて、人民の自由のために死ぬ覚悟であることを宣言する。共産主義者の恐ろしいくびきから解放されたわれわれは、たつた一歩でも後退するくらいなら死んだほうがましだと考えている。労働者人民の自由ロシア万歳

決議は満場一致で可決された。

復讐するな

共産主義独裁は動労大衆の憤激を引き起した。その結果、ある民衆はこの憤激のいけにえとして共産主義者の家族を隔離したり、路上で石を投げたりした。このようなことはあつてはならない。われわれは復讐してはならない。われわれは純粹に労働者階級の利益を擁護しなくてはならない。冷静に行動し、サボタージュ、扇動、中傷活動による労働者の権利の再建を妨げるもののみを、除去することが必要である。

電気を節約せよ

一晩中電気を付け放したり、消し忘れているクロンシュタットの住民は注意してもらいたい。

同志諸君、われわれは労働者階級の利益のために闘っていることを諸君に訴える。われわれは、まもなく氷が解け、船舶が沖合へ出航するにあつて、最大限必要な燃料を首尾一貫して節約しなければならぬ。

電力を節約せよ。

共産党からの脱退

共産党員の脱党書簡は、臨時革命委員会へ続々と届いている。(一) 懲治兵中隊の職業として下署のわれわれは、労働者大衆の意志表現とみなしロシア共産党に加盟していた。だが共産党は、労働者・農民の死刑執行人としてあつた。

ベトログラードの最後の事件は、権力を維持するためあらゆる手段を用いた、党官僚の二重性格性の明白な事実を示してくれた。

例えば、モスクワ人民にあてられた、ソウイェト委員のラジオ放送がそうである。本日をもってわれわれは、P O R (ロシア共産党) を脱党する。また本年三月二日、クロンシュタット守備隊の集会において採択された決議を全面的に支持する。

I・ゴウトマン、J・エビノフ

B・コドラブゾフ、アンドリーフ

(二) 私は、一九二〇年八月以来のP O Rの志願兵である。だが党の思想は擁護するようなものではなかつた。共産党は人民の意志を表わすものではなく、大衆から完全に切離された組織である。私は、われわれがさしかかつている困難な時期のなかで、すべての労働者人民の利益を守るため、共産党を放棄する。

ロシア共産党元志願兵 アフニエフ

(三) 第四砲兵師団の赤軍兵士D・ピサセンコ、海軍砲兵研究所の労働者U・ブルノ、クロンシュタット港の警備兵カミネ、食糧補給基地の職業軍人P・レベデフ、一九一八年来のロシア共産党のメンバーコルタシエフたちの脱党書簡が同様に送り届けられた。

決議

われわれリシイ保塁の共産党員は、現在の情況について討論した後、クロンシュタットにロシア共産党地方局の召集を読み上げ、下記に続くような結論にたつした。

過去三年間、非常に多くの党利殖者や山師が我党に存在し、その意識的な利益主義は拡張され、国家の懸念すべき混沌に対する闘いは犯罪的にも放棄された。

われわれの党はたえず労働者、プロレタリアート階級のすべて

の敵に対して闘ってきた。われわれは、人民の公正な産物である共産主義者の取得財産を公然と守ることを決定する。

われわれは、現在共和国がさしかかっている、困難な時期を利用して、ソヴェト政府の手によって秘かにもたらされ、言明された、白色擁護主義者を絶対に許さない。

われわれはすでに言明したものと、われわれは実際にプロレタリアートと労働者のソヴェトを創造することを任務として定められた、クロンシュタット臨時革命委員会に従うことを新たに表明する。

労働者権力の唯一の保護者、ソヴェト権力万歳

リシイ保壘共産主義者集会委員長

同書記

通告

町の保健省は、一月分の食糧配給量補充を規定するため、氏名、正確な診断書と病名を提出することを医者、看護婦、市民に知らせる。

一番最初に伝染病に冒された子供を対象とする診断を続いて肺病患者、概して伝染性の患者を優先的に取扱う。

診断は、毎日公立病院の特別室で一〇時―一二時まで行われている。薬剤は、翌日一時―二時の間に渡される。

三日以内に病状を見い出されなかった診断は、何もないものとみなされる。三月五日前までにすまなかった診断は、無効となる。

これらの決定は、保健省に共通な代表と、公立病院の代表者、

看護婦、医師の会議によって定められたものである。

評議会は、共和国の悩んでいる食糧補給困難ゆえに、診断証明のより広範な世話を、すべての同志である医師、看護婦に要求する。

共同保健者・担当者プラム

クロンシュタット・ソヴェト局の所轄

クロンシュタット・ソヴェト局の所轄は、町の舗道の上に移った雪を除去するため必要な人員確保を、すべての道路委員に指令する。同様に、公設遊歩場の除雪作業に大多数の市民の協力参加があるよう指令する。軍事委員会は、この作業実施の積極的参加を申し出る。

市民の通行証引渡しを保留することが道路委員に提出された。

連絡

すべての軍事部門、組員、労働機関の者は、中央印刷所で「臨時革命委員会ニュース」を手に入れることができる。

(つづく)

* * * * *
* 二月一日、クロンシュタット * * * * *